

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No.18

2021 年
10 月 7 日

〒102-0083
東京都千代田区麹町 1-6-9
DIK 麹町ビル 704 号室
TEL : 03-6272-8135
FAX : 03-6272-8136
Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

10月19日公示、31日投開票!

自公政治にNOを いのちと暮らしを守る政治へ

コロナ禍での命と暮らし、そして今後の社会のあり方を問う総選挙は10月19日公示、31日投開票の日程で行われます。「国民の声を聞く」と言いながら予算委員会など国会審議を拒否する岸田内閣の姿勢はこれまでの政権と変わりません。自公政治を終らせるため、全力でたたかい勝利をめざしましょう。



今度こそ、選挙区で議席を

吉川はじめ衆議院議員（大分2区）

大分2区から立候補予定の吉川はじめ衆議院議員は、通常国会終了後の6月から、連日街頭宣伝、あいさつ回りで選挙区内を駆け回っています。その活動量は、過去3回の選挙戦を大きく上回っています。

9月11日には選対の事務所開きを行い、安達きよし参院議員、足立信也参院議員（国民民主党県連代表）も激励に駆けつけ（写真）、オール野党+連合で闘う体制を確立しました。今度こそ、選挙区で議席を獲得するため、選対の意気も上がっています。

31日の投票日まで全力で闘います！ 全国の皆さんの応援、よろしくお願いします。



国民に寄り添う政治の実現を

山本ほまる予定候補（島根2区）

いよいよ選挙戦との思いで、10月2日事務所開きを迎えました。ご推薦を頂いた連合島根の産別代表の皆様や、これまで私が活動してきたドッジボールや今も関わっている野球チームからも出席いただき、本当に身の締まる時間でした。

総裁は変わっても、派閥の権力や圧力に逆らえない新内閣は、国民の信頼を得ることはできません。国民受けする政策を並べても、絵空事にしか聞こえません。何としても政権を変えて、島根2区から国民に寄り添う政治に変えましょう。力を合わせて頑張れば、必ず展望は開けます。【フェイスブックより】

衆議院選挙を通じて社民フォーラムの存在感を高めよう

社民フォーラム代表 参議院議員 吉田忠智

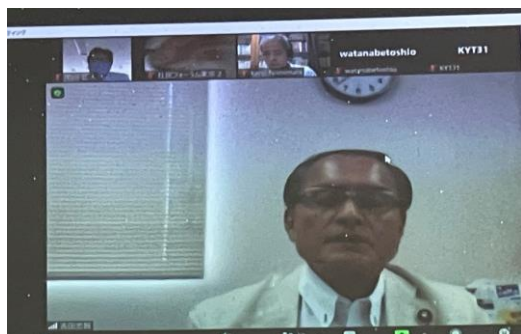
岸田文雄内閣が発足しました。自民党内で疑似政権交代を行ったつもりでしょうが、表紙を変えても中身が変わらなければ政治は良くなりません。

自民党が総裁選挙騒動でメディアジャックをしている間も、立憲民主党は「政権発足後、初閣議で直ちに決定する事項」や人権、地域、住宅、平和外交、経済、エネルギー、子ども・子育てなど、衆議院選挙に向けた政策を発表してきました。これからも、政策を地道に訴え、最後まで小選挙区候補者の一本化を追求し、勝利を目指します。

社民フォーラムにとっては最初の国政選挙です。在住・近隣選挙区での立憲民主党候補への支援を通じて、社会民主主義の前進を図り、存在感を高めましょう。

社民フォーラム 2021政治セミナー を開催

コロナ禍での社会保障政策学び 全国から総選挙での奮起を決意

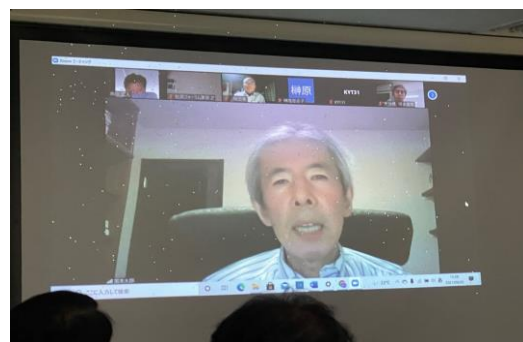


9月25日14時30分から、社民フォーラム「2021政治セミナー」を開催しました。セミナーはフォーラム東京と共催で初めての開催となり、会場には40名、全国からズームで50名を超える参加者がありました。セミナーでは羽田圭二世田谷区議（フォーラム東京代表）の開会挨拶に続き、吉田忠智参議院議員（フォーラム代表＝写真左）から総選挙をめぐる情勢と課題について、「フォーラムとして初めての国政選挙となる。選挙区候補の支援で私たちの存在感を発揮することが課題であり215人（9月21日現在）の内定候補者全員の勝利に向けて頑張ろう」と提起を受けました。

当日は宮本太郎中央大学教授（写真右下）を講師に招き、「社会保障改革をどうすすめるのか 社会民主主義の視点」というテーマで問題提起を受けました。宮本教授からは今後の社会保障の方向を考えるうえでも、コロナ禍で顕著となった「新しい生活困難層」への対策が重要だと指摘がありました。そのうえで「積極的労働市場政策」あるいは「ベーシックインカム」など双方の視点からのアプローチについて、その意義と課題を学びあいました。

その後各県・労組から報告を受け、ALPS処理水の海洋放出問題（宮城）、山本ほまる（島根2区）、吉川はじめ（大分2区）両予定候補の総選挙への取り組み（島根・大分）、コロナ禍の春闘や職場での活動（東京・私鉄）など交流を深め、総選挙勝利に向けた決意を固めました。

全国で立憲民主党への移行が進む一方、お互い手探りの状態で活動をしており、参加者からは今後も全国的な交流の場が必要だとの要望や感想が出されました。



佐賀

佐賀、鳥栖両市での自治体選と総選挙勝利へ 政治セミナー開催し意思統一



佐賀県では、10月17日に佐賀市長選と佐賀市議選、11月21日に鳥栖市議選が実施されます。それに加えて総選挙が間近に迫る中、社民フォーラム佐賀は、選挙戦勝利に向けて9月26日10時から自治労会館で「2021政治セミナー」を開催し、会員約50名が参加しました（写真）。

セミナーでは、中村直人代表のあいさつの後、佐賀市長選で応援している古賀しんすけ予定候補が駆けつけ、「市民の暮らしを守るために全力で奮闘する」と決意を述べました。

その後、立憲民主党の原口一博衆議院議員（1区）と大串博志衆議院議員（2区）が問題提起を行い、今の日本の政治と社会の矛盾や問

題点、総選挙に向けた立憲民主党の主要政策などを述べました。

社民フォーラムは、両氏の小選挙区での勝利に向けて全力で取り組むことを確認しました。また、佐賀市議会議員選挙、鳥栖市議会議員選挙では、それぞれ2名ずつの現職が立候補を予定していますが、それぞれから決意表明を受けました。

フォーラム佐賀では、今後も社会民主主義の政策や政治課題をテーマに、年に数回政治セミナーを開催することとしています。

